

令和2年度
和歌山大学教育学部附属特別支援学校

中間報告会のご案内 (オンライン開催)

本年度は研究発表会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、来年度に延期することとなりました。

今年度は中間報告会として、オンラインで研究に関する動画を配信します。

令和元～3年度研究主題

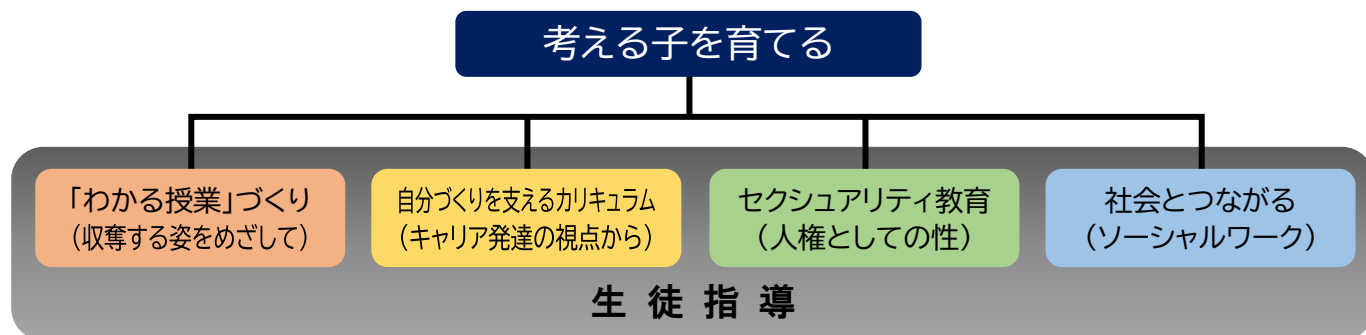
考える子を育てる

～知的障害特別支援学校における小・中・高一貫した生徒指導とは？～

動画配信期間 令和3年2月11日(木)～令和3年2月23日(火)

動画配信方法 YouTube による限定配信

動画配信内容 ①学校研究概要
②各研究グループによる提案と課題提起
③講演『特別支援学校における生徒指導の方向性と課題』
＜新井 肇 先生(関西外国語大学)＞



本校では、子どもたちの積極的な社会生活への参加を教育目標として、教育実践に取り組んでいます。令和元～3年度の研究では、開発的生徒指導(育てる生徒指導)に重点を置き、子どもたちの考えようとする力を高めることを目的に、4つのグループに分かれて研究を進めています。

多くの皆様にご視聴いただき、ご指導、ご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

各グループの概要

下記の4つのテーマから1つを選んでお申込みください

「わかる授業」づくり
(収奪する姿をめざして)

子どもたちが見通しをもち、課題に対して自分なりの解決方法を編み出していこうとする姿が見られるような授業づくりについて、これまでの研究の経過を報告します。さらに今回は、小学部高学年図画工作科の授業実践を通して、子どもの見とり方や授業づくりについて提案します。

自分づくりを支えるカリキュラム
(キャリア発達の視点から)

「自分づくり」(自分の願いの実現やなりたい自分)に向けて、自己理解をベースに小学部低学年、小学部高学年・中学部合同、高等部1年において取り組んだ授業実践です。「各段階における自己理解」や「小・中・高12年間の系統性」及び「学部間の連携」等について研究していきます。

セクシュアリティ教育
(人権としての性)

性は人間らしく、自分らしく生きるための人権の一つと考え、包括的に性を捉えた特別支援学校におけるセクシュアリティ教育のあり方について研究をしてきました。今回は、中学部の実践を紹介しながら、セクシュアリティ教育を進めていく上で大切にしていきたいことについて提案します。

社会とつながる
(ソーシャルワーク)

スクールソーシャルワークの視点で子どもたちのエンパワメントを目指しました。効果的な事例検討会の持ち方やアセスメントシートの活用についても模索し、今回は生徒自身が自分たちの使える社会資源について保護者とともに考えた授業の一コマをご覧ください。

講演

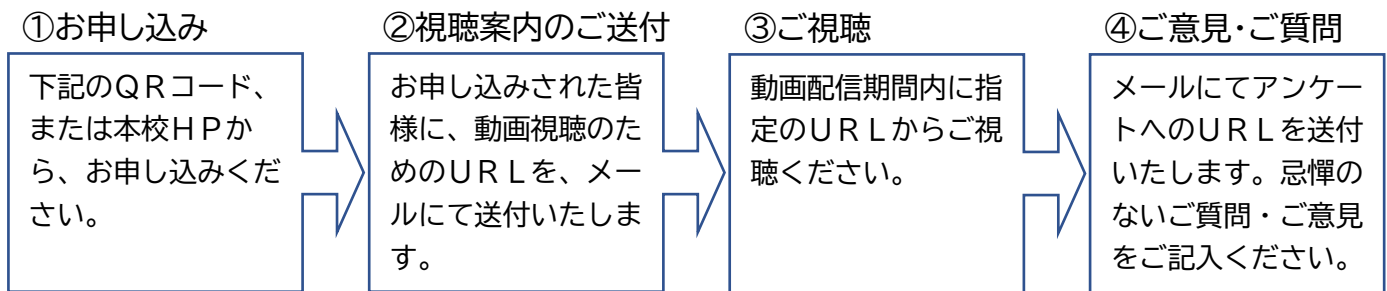
「特別支援学校における生徒指導の方向性と課題」

講師: 新井 肇 先生

関西外国語大学 教授 (元兵庫教育大学大学院教育学研究科教授)



お申し込みからご視聴までの流れ



お申し込みはこちら



和歌山大学 支援学校

検索

お申し込み締切: 令和3年2月5日(金)

お問い合わせ

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

〒641-0031

和歌山市西小二里2丁目5-18

TEL:073-444-1080 FAX:073-447-2597

✉ wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp